

①課名※1		協働まちづくり課		④クロスSWOT分析※4	
②取組の基本方針 (意見交換テーマ) ※2		利用しやすい公共交通網の構築		【内部環境】	
③主な事業※3		自主運行バス等運行事業 生活バス路線維持補助事業 天竜浜名湖鉄道運営支援事業		Strength (強み)	Weakness (弱み)
				◆高齢化率が低く、各世代において、鉄道駅を拠点とした交通流動を維持することができる。 ◆各方面への丁寧な説明や住民アンケート、地域公共交通を担う運行事業者や地域協働運行バスの地元地域との定期的な情報交換など、市民ニーズや実情に沿った地域公共交通網の形成に努めている。	◆ここ数年、市内を運行する生活バス路線が廃線になるなど、きめ細かな地域公共交通網の維持が困難になりつつある。 ◆財政的に厳しい状況であり、現在の公共交通網を維持するための財源が十分でない。
④ ク ロ ス S W O T 分 析 ※ 4	Opportunity (好機)	◆規制緩和や制度拡充などによるライドシェア導入の動きや、自動運転などの先進技術の発展により、公共交通における課題解決を目指す動きが活発化している。 ◆環境負荷を低減する公共交通への関心が高まり、利用者が増加する可能性がある。		【好機×強み】強みを好機に活かし、積極的に推進する施策 ◆それぞれの課題について、地域公共交通会議に諮り、利害関係者だけでなく、各方面の代表者から広く意見を伺うことで、市として適切な地域公共交通施策を実施していく。 ◆自動運転車両での回遊や滞留施設の整備など、地域公共交通の拠点となる施設（周辺）を活性化することで、公共交通の利用を促すことも研究する。	【好機×弱み】弱みを補強して、好機に適應する施策 ◆地域協働運行バスや地域タクシーなど、行政主導ではなく、地域・事業者などが一体となった取り組みにより、持続可能な交通空白解消を進めていく。 ◆自動運転などといった先進技術を活用することで、人件費などといった運行に係る経費を削減し、補助金支出などの財政負担を軽減させていく。
	Threat (脅威)	◆運転士不足に加え、ライフスタイルの変化による利用者減少などにより、公共交通体系の維持が困難になりつつある。 ◆物価や人件費高騰に伴う運行経費の急激な増加に伴う財政負担増により、減便や廃線などの恐れがある。 ◆自動車依存や車両の性能向上に伴い、免許返納が進まず、公共交通の利用促進に影響する。		【脅威×強み】強みを活かして脅威を避け、他と差別化する施策 ◆それぞれの交通手段において、特性や利用方法を十分PRし利用することで公共交通が守られるという意識の醸成を図る。 ◆利用者や事業者、その他関係者とコミュニケーションを重ね、路線の価値向上に努める。 ◆潜在需要の掘り起こしなども視野に入れ、近隣市町との共同運行についても研究する。	【脅威×弱み】弱みを理解し、脅威からの防衛や撤退する施策 ◆自主運行路線や基幹バス路線における減便や退出などが想定されるが、本市のまちづくりの方向性や地理的特性を踏まえ、新たな移動手段導入の検討など、交通弱者が外出に困らないような地域公共交通網を形成していく。

⑤関係団体等 からの意見 ※5	
-----------------------	--

⑥ 見 直 案 ※ 6	a 現状と課題		
	b 取組の 基本方針	i 項目	
		ii 本文	
		iii 事業	

※1 課名を選択してください。

※2 取組の基本方針について、部会で意見交換するテーマの中から選択してください（本シートは、テーマごとそれぞれ作成してください）。

※3 選択した「取組の基本方針」に応じて、自動的に反映されるように設定してあります（枠の中から漏れた事業など、入替えが必要な場合は直接修正してください）。

※4 取組の基本方針について、4要素（好機・脅威・強み・弱み）の整理（表の外側）と、それらをクロスさせた際の、施策の方向性の検討（表の内側）を行ってください。

※5 【意見交換会後に入力】意見交換会における関係団体等からの主要な意見を記載してください。

※6 【意見交換会後に入力】クロスSWOT分析及び意見交換会の結果を踏まえ、現行基本計画の見直案を作成します。見直し後の「現状と課題」と「取組の基本方針」をそれぞれ記載してください。